

古 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和2年度 NO. 5
令和2年7月31日
発行責任者 梶原 和子



今年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業が長引いたため、従来42日間ある夏休みも、8月1日から16日までと短縮となりました。いつもより限られた短い期間です。だからこそ、時間を無駄にしないで計画的かつ有意義に過ごす工夫をして欲しいと、夏休み前に児童たちに話をしました。

また、あいさつの励行については毎年の約束事ですが、『自分のことは自分でする』『お家の人のお手伝いをたくさんする』ということも私からの宿題としました。

さて、毎年第4、5学年「とちぎっ子学習状況調査」、第6学年対象に実施されている「全国学力学習状況調査」ですが、今年度はこのような状況ですので、通常どおりの実施はできませんでした。ただ、「とちぎっ子学習状況調査」については、7月15日に実施しましたので、結果の概要につきましては後ほどお知らせできると思います。

特に今年は夏休み期間の学習は、これまでより大切になると考えています。授業の進度もいつもより速くなっています。復習をはじめとした計画的な家庭学習が、学力の定着や伸びに大きく影響します。特に高学年はこの機会に予習も行い、これからの学習に備えるといいでしょう。また、感染症や熱中症対策で外出等自由にできないこともあるでしょう。そんなときはゲームではなく、本を読んで心の栄養をつけてほしいものです。

1年生が交通安全教室、学校探検を行いました！

7月に入って、1年生もやっと様々な活動ができるようになってきました。交通安全教室では、実際に学校周辺の歩道を歩き、信号機の見方、横断歩道の渡り方、歩道の安全な歩き方等、交通指導員の方から教えていただきました。交通ルールを学んで、安全に登下校できるようになることを期待しています。



また、学校探検もできました。教室や体育館、校庭はいつも使っているのですが、職員室や保健室、理科室などの特別教室、校長室、会議室など普段あまり訪れたことのない部屋は、場所を確認しながら興味津々な様子で見学していました。

校長室では、歴代の校長先生方の写真を、校長室前の廊下では古山小学校の昔の写真に熱



心に見入っていました。学校の昔の写真と現在の写真を比べて、あまりの違いようにびっくりし、歓声をあげていました。

健康推進学校として、表彰されることになりました！！

昨年、保健委員会を中心として行った『歯っぴー大作戦』の様々な取組が認められ、下都賀地区健康推進学校最優秀校、栃木県健康推進学校表彰上位校となりました。県教育委員会の方が来校し、児童に取組についての質問をしましたが、子どもたちの頑張りがとてもよく伝わったとのことでした。取組が認められ、保健委員会の子たちもとても喜んでいました。私も誇らしいです。頑張ってくれてありがとう。



ありがとうございます

新型コロナウイルス感染症については、未だ収束の見通しも立たず、首都圏に留まらず本県でも増加の一途をたどっています。学校では常に換気はもちろん、職員による毎日の消毒等感染症対策を行っています。児童へも手洗いの徹底に加え、体育の授業や登下校時を除き、室温が管理されている場所でのマスク着用の意味を理解させた上で義務づけ、感染予防について努めているところです。そのような折り、保護者の方から176枚ものマスクをいただきました。1枚1枚心を込めてつくってくださったものです。学校にとってはとてもありがたいものです。お心遣いに感謝申し上げます。



パックパク 何ができるかな？

4年生の教室をのぞいてみたら、写真のような楽しい作品が飾ってありました。輪切りにした『牛乳パック』に『割り箸』をつけ、それを自分でつくりたいものに合った色や材料を選んで飾りつけた動くおもちゃのようです。私が手にとって見てみると、子どもたちが動かし方や自分の作った作品への思いを嬉しそうに話してくれました。身近な材料で、仕組みも簡単ですが、割り箸をつける位置を変えたり、飾りのちょっとした工夫をしたりすることで動きが変わることにびっくりしました。おもちゃの動きを試しながら、自分が表したいことを見つける過程が楽しかったようです。子どもたちの持っているイメージの豊かさや感性に感心しました。



県教育長より保護者の皆様へのメッセージをお伝えします

6月から本格的に授業が再開され、児童生徒の皆さんは、友達や先生方と一緒に過ごす事の楽しさを実感していることと思います。各学校では、「新しい生活様式」を踏まえた活動が行われておりますが、一方で現在、栃木県内では新型コロナウイルス感染者数が再び増加しており、学校においても感染者が確認されています。校内では、基本的な感染症対策を徹底しているところではありますが、感染リスクをゼロにすることはできません。ご家庭におかれましても、引き続き感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

また、県内においても、新型コロナウイルス感染症を理由とした不当な差別や偏見に苦しんでいる方々がいらっしゃいます。このようなことは決してあってはなりません。児童生徒の皆さんには、決して差別的な言動に同調せず、正確な情報に基づいた冷静な行動をとって欲しいと思います。保護者の皆様におかれましては、このことについてぜひご家庭でお子様とともに話し合ってみてください。

もし、お子様が差別や偏見に苦しんでいらっしゃいましたら、家庭だけで悩まず、積極的に学校や関係機関に相談するようにしてください。お互いを支え合い、誰もが安心して過ごせる学校をつくっていきましょう。



令和2（2020）年7月22日
栃木県教育委員会教育長 荒川 政利

※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

